

河内神社報

発行所:〒731-5151広島市佐伯区五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社社務所

初詣は氏神様から

うじがみさま

宮司 山田 茂雄

新しい年の始めは、家族みんなで、まずは氏神様・河内神社に初詣をしましょう。氏神様は我々のことをいつも近くで見守ってくくださる神様です。

境内の手水舎で手と口を清め、清々しい気持ちで神前に足を運び、一年の願いを込め、二礼二拍手一礼の作法でお参りします。御札・御守などを新しく取り替え、身も心も新たに良い年を迎えます。

日本を広く見守る神様・伊勢神宮も遷宮がなされ、新しく造営された社殿で新年を迎えます。より新たな、より大きな力を仰ぎ、神宮には日本各地から多くの人々が訪れます。氏神様への新年のご挨拶とともに、伊勢神宮の御札を新たに受けてお参りしましょう。

新年が良き年となりますよう、河内神社では祈願祭を受け付けます。家内安全、厄年祓い、合格祈願、商売繁盛など気になることは河内神社でお祓いを受け、玉串に願いを込めて、晴れやかな生活を送りましょう。



正月のお祭りと行事

参拝・授与所始め【元日・午前0時】

御札、御守、破魔矢、福入り御神籤、熊手、干支土鈴など授与します。あつたか甘酒、お子様にはしあわせポン菓(子配布(元日数量限り))もあります。

歳旦祭【元日・午前9時】

新年を迎えられたことに感謝し、皆様の健康と安寧を願う祭式を行います。

巫女舞、獅子舞を奉納し、正月を晴々しく迎えます。



河内神社は昇殿参拝です。一般参拝も拝殿内にてお祓い参拝できます。立礼式(いす式)ですので、ご年配の方も安心して昇殿ください。参拝の後は御神酒をどうぞ。また昇殿参拝され、年賀初穂料をお供えの方は、難を転じる白南天箸をお持ち帰りください。

【厄年早見表】数え年(平成26年版)

男			女		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
平成3年生(1991)	平成2年生(1990)	平成元年(1989)	平成9年生(1997)	平成8年生(1996)	平成7年生(1995)
昭和49年生(1974)	昭和48年生(1973)	昭和47年生(1972)	昭和58年生(1983)	昭和57年生(1982)	昭和56年生(1981)
昭和30年生(1955)	昭和29年生(1954)	昭和28年生(1953)	昭和54年生(1979)	昭和53年生(1978)	昭和52年生(1977)

【歳祝い早見表】数え年(平成26年版)

還暦	古稀	喜寿	傘寿	米寿	卒寿	白寿	上寿
61歳	70歳	77歳	80歳	88歳	90歳	99歳	100歳
昭和29年生(1954)	昭和20年生(1945)	昭和13年生(1938)	昭和10年生(1935)	昭和2年生(1927)	大正14年生(1925)	大正5年生(1916)	大正4年生(1915)

新年祈願受付【元日・午前0時から】

家内安全・交通安全・自動車破い合格祈願・安産祈願・初宮参り厄祓い・歳祝い・健康長寿祈願良縁成就・芸能成就・就職祈願商売繁盛・企業繁栄・安全祈願など拝殿にて皆様の祈願を受け付け、随時、受付順に執り行います。

祈願受付時間

元日 午前0時〜午後5時
(午前8時〜10時は、歳旦祭のため受付休止)
2日 午前9時〜午後5時
3日 午前9時〜午後5時
4日以降 電話でご予約ください。
河内神社社務所(082)928-2283

獅子舞登場【元日・午前11時】

河内神社境内にて、獅子舞同好会による開運招福の獅子舞が行われます。獅子に頭を噛まれると、邪気が払われ、その年は無病息災、元気で過ごせるともいわれています。



氏神様・河内神社の御札とともに神宮大麻

(伊勢の神宮の御札をおまつりしましょう)

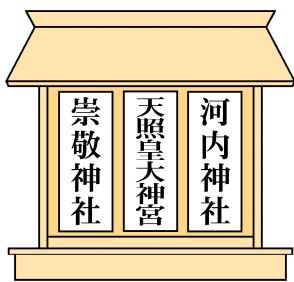


身近で見守る地元の氏神様「河内神社」の御札と日本全土を広く見守る神様「天照皇大神宮」の御札をおまつりしましょう。日々豊かな生活が送れることに感謝し、日常の様々な時に神様に手を合わせましょう。

古い御札、御守は氏神様に納め、一年を無事に過ごせたことに感謝しましょう。御札・御守は河内神社で授与しております。

伊勢の神宮	小大麻	8000円	河内神	携行御守	各5000円
河内神社	中大麻	12000円	社限定	交通安全御守	5000円
神宮曆	御札	5000円	開運厄除御守	5000円	
小型神棚	中御札	10000円	合格御守	5000円	
破魔矢(大中小)		10000円	健康長寿御守	5000円	
熊手(大中小)		10000円	良縁結び御守	5000円	
うま土鈴		8000円	仕事・就職・金運・勝守	5000円	
			各種御守	5000円	
			御神籤	1000円	

横に並べてまつる場合



御札のまつり方

重ねてまつる場合

重なる場合、手前から神宮、河内神社、崇敬する神社の御札の順におまつりします。

天照皇大神宮(手前)
河内神社
崇敬神社

出張祈願祭も受付

〔家庭の祈願祭〕 地鎮祭(新築)・家祓い(入居)・上棟祭
〔団体の祈願祭〕 上達祈願・商売繁盛・安全祈願・開店祭
不明なことや日時、式次第などご相談、ご予約ください。

総代長の任、一年のふり返り

氏子総代長 先本民治

村社揮毫の標柱を右に、学び舎に集う子供たちの声を耳に、45段の階段、箒目の入る境内でした。手水舎の水盤に逆さのみじの朱色が初冬の時節を映しておりました。

総代長の命を受け、時過ぎし一年早いものであります。敬神篤き氏子、里人共々に護持する社であります。崇敬の誠を示し戴いた大下前総代長、その教えを手に受けながら、過ごした三百六十五日でありました。巳年で明けた平成25年、拝殿に、夜なべに新調の大しめ縄、幣の祓いにマラソン選手が身を清めました。

英霊の額に戦いの愚かさを想い、平和の尊さをお誓いした忠魂社大祭4月29日の一日でした。新緑輝く5月28日、広島県神社総代連合会の正式参拝の栄に浴したことが、我が社にとって晴れがましい一日でありました。宮司彌宜齋行の『夏越の祓い』参詣のハツピが夏の陽光に白を際立たせた茅の輪行事でした。第62回神宮式年遷宮・お白石持行事での奉獻、8月19日、その日でありました。白装束に染め上げられた「伊勢」の墨文字が拳の振り上げに踊りました。神宮参道に人、人、また人の奉曳き車であり、まさに心一つの絵巻物でありました。神降ろし神事に奉納の上河内神楽団、旧舞の伝統を操り広げる、里人集いのよごろのなか、傘花火、吹上花火に驚嘆、歓声の夜神楽でありました。各町内の若蓮中、境内での俵もみも圧巻の例大祭でした。先人先輩達が地域風土と共に培い崇めた「宮」。まさに敬神崇組の念を持ちつつ、護持運営に今を、また将来を発念し、想いを新たに、共々の任を努め行きたいと存じます。



河内神社敬神婦人会が発足

昨年12月5日に、河内神社敬神婦人会の結成奉告祭を斎行しました。

引き続き総会を行い、会則や運営、楽しい行事を計画していくことなど話し合いました。会長はじめ役員も決まり、何とか小さな舟で漕ぎ出すことが出来ました。

暖かくご協力、御見守りをいただきますよう、よろしくお願ひします。



河内神社のこよみ [平成26年]

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様

- 1月1日(祝) 午前9時 歳旦祭
- 2月11日(祝) 午前10時 建国記念祭
- 3月9日(日) 午後2時 稲荷神社大祭
- 4月13日(日) 午後2時 祈年祭(大祭)
- 4月29日(祝) 午前10時 河内忠魂社慰霊祭
- 7月6日(日) 午後2時 夏祭、夏越大祓、茅輪神事
- 7月20日(日) 午後2時 祇園祭(御旅所御神幸)
- 8月14日(木) 午後7時半 献灯祭
- 10月11日(土) 午後6時半 秋祭前夜祭(神楽奉納)
- 10月12日(日) 午後2時 秋祭(例大祭)
- 11月15日(日) 午後2時 七五三祭
- 12月14日(日) 午後2時 新嘗祭(大祭)
- 12月31日(水) 午後6時 除夜祭(大祓)
- 毎朝 日供祭
- 毎月1日・15日 月次祭

厄年・歳祝い早見表が便利!

河内神社 〇斎料

河内神社平成24年度決算(24年4月〜25年3月)
〔繰越金〕二百七十三千円／〔歳入〕七百九十二万五千円／〔歳出〕五百八十二万一千円／〔残金〕四百一十七万六千円。(歳入の主なもの) 祈禱料百三十四万四千円、賽銭六十九万九千九百九十九円、御札・御守・破魔矢等二百八十五万五千円、玉串料百四十九万九千九百九十九円、初穂料・祭典費百三十二万二千円。(歳出の主なもの) 祭典費五十二万二千円、神職給二百五十万五千円、御札・御守・破魔矢等の仕入百二十六万六千九百九十九円、会議費・雑費等二百二十万九千九百九十九円、負担金等五十三万三千円、(残金内訳) 予備資金二百二十万九千九百九十九円、繰越金二百八十八万九千九百九十九円、毎年4月に監事により監査を受け、氏子総代会にて承認を受けています。